

- ファイル名のXXXXXXXXXのところは学籍番号に変更してください
- プログラム中にstudent_numberに自分の学籍番号を入れてください

```
student_number = XXXXXXXXX
```

課題3: 簡易マインスイーパ

注意: マインスイーパについて知らない方は"マインスイーパ"でGoogle検索するとなんとGoogle製のマインスイーパが遊べたりするので、まずは遊んでみてください

下のような二次元リストfieldはマインスイーパにおけるフィールドを表しており、0は地雷なし、1は地雷ありをそれぞれ示しているとする (この数字は周囲の地雷の数とは違うことに注意)

```
field = [
    [0, 1, 0, 0],
    [0, 0, 0, 1],
    [0, 0, 0, 0],
]
```

このfieldと座標(X, Y)を与えた時、そこが地雷であれば -1 を、地雷でなければ周囲8マスにある地雷の数を表した整数値を返すような関数 open_field() を以下のDocstringに従って実装せよ
ただしここで座標(X,Y)はX座標がfieldの内側のリスト、Y座標がfieldの外側のリストのインデックスを表すものとする。例として、fieldにおける(1, 0)座標の値は"1"である。

```
field = [
    [0, 1, 0, 0], # X=0~3, Y=0
    [0, 0, 0, 1], # X=0~3, Y=1
    [0, 0, 0, 0], # X=0~3, Y=2
]
```

また、open_field() に渡す(x,y)座標がfieldのリストの範囲外である場合は今回は気にしなくても良いとする

```
def open_field(field, x, y):
    """fieldの上のマス目を開け、その結果を返す

    Args:
        field (list[int][int]): マインスイーパにおけるフィールドを表す二次元リスト。0が空きマス、1
        x (int): 開きたいマス目のx座標
        y (int): 開きたいマス目のy座標

    Returns:
        int: 開けたマス目が地雷であれば -1、地雷でなければ周囲8マスになる地雷の数に相当する整数値を返
```

""
pass

